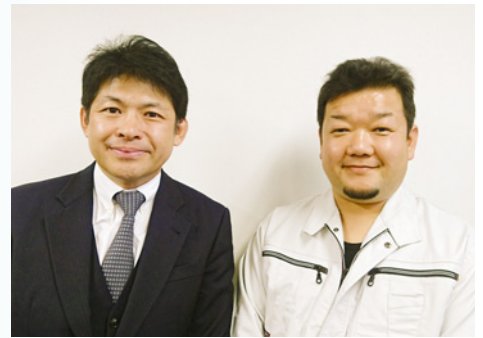




「世の中から無価値なものをなくす」を
モットーに、古紙のリサイクルで
循環型社会の実現に貢献

株式会社斎藤英次商店 北茨城営業所



代表取締役 斎藤 大介氏(左)
営業部長兼北茨城営業所長 岩淵 昭之氏(右)

古紙再資源化のスペシャリスト

株式会社斎藤英次商店（以下、斎藤英次商店）は、古紙回収業者として1946年（昭和21年）、現代表取締役の祖父にあたる斎藤英次氏が、東京都荒川区日暮里にて個人商店「斎藤英次商店」を創業したことに始まります。

順調に事業を展開してきた斎藤英次商店は、1959年（昭和34年）に法人成りし、現社名へと組織改編、1968年（昭和48年）には新たな営業地盤を獲得すべく千葉県柏市に柏営業所を開設しました。

柏営業所開設時、柏市の人口は、約13万人と現在の人口約42万人（平成29年12月31日現在、柏市大字町丁別住民基本台帳人口より）の3分の1の規模に過ぎない地方都市でした。しかし、柏市には古紙回収業者がなく、斎藤英次商店はブルー・オーシャン（競争相手のいない未開拓市場）に、同業他社に先駆けて入り込むことができました。この柏営業所の開設は、斎藤英次商店にとって“第二の創業”と位置付けられており、古紙再資源化のスペシャリストという現在の事業の礎を築きあげたと言っても過言ではありません。

以後、1976年（昭和51年）の土浦営業所を皮切りに、茨城県牛久市や取手市、千葉県千葉市や松戸市などに営業所を構え、営業テリトリーを拡大していき、1985年（昭和60年）に本社を柏市に移転し現在に至っています。

古紙の回収から新しい紙製品材料の 流通までを担う

斎藤英次商店は、単なる古紙回収業者ではなく、新しい紙製品材料の流通まで一貫して担う古紙リサイクル会社です。古紙回収のみを行う業者が多い中で、斎

藤英次商店がそれを可能にしているのは、4つの特長があるからです。

1つ目は地域密着型営業です。現在、千葉県・茨城県に11の拠点を構え、各営業所から15分圏内の回収ルートを毎日巡回しているため、スピーディーな古紙回収を可能にしています。また、巡回地域では原則無料で引き取りを実施しています。

2つ目は業歴70年の経験とノウハウの蓄積です。特に、斎藤英次商店の強みでもある機密文書処理サービスは、個人情報保護法が施行される前の約20年前から取り組んでおり、業界ではいち早く導入しているサービスです。

この機密文書処理サービスは、溶解処理という紙を溶かす方法で処理するため、シュレッダーで処理するよりも確実です。また、処理証明書を即日発行するため、安心して利用されています。

3つ目は古紙の高価買取です。製紙メーカーと長年取引しているため、古紙を直接納品できる関係が構築されており、他社よりも高額での買取りが可能となっています。

4つ目は豊富な業務実績です。古紙の買取・回収先は、一般企業だけでなく、警察や県庁、市役所等公的機関も多数あり、高い信用力を有しています。また、物流の手配等それぞれの取引先に応じた柔軟な対応力も発



北茨城営業所



圧縮・梱包した古紙



リサイクルステーション「古紙ゆたか」



ファミリー向けイベントへ提供した段ボール

揮しています。

斎藤英次商店では、従業員の自己啓発も積極的です。社員のほぼ全員が全国製紙原料商工組合連合会の認定する「古紙リサイクルアドバイザー」を取得しており、取引先の要望に応じた回収方法や処理方法等のコンサルティングを実施しています。また、自発的に小集団活動を行うことで、全社員のスキルアップを図っています。

その他、環境保全のための活動を行う環境管理委員会の運営や、ISO14001の認証取得等、環境への積極的な取り組みを行っています。さらに、販売する再生紙の品質を保つため、引き受ける紙の選別等を行う品質管理委員会を運営しており、全国製紙原料商工組合連合会より「古紙商品化適格事業所」に認定されています。

新たなチャレンジ拠点「北茨城営業所」

斎藤英次商店は、千葉県の主要都市や茨城県南部を中心に拠点を構え、長年事業を展開してきましたが、取引先の要望等もあり、新たなチャレンジ拠点として茨城県北部への進出を検討してきました。

数ある候補地の中から、常磐自動車道路の高萩インターに近く、物流面で利便性の高い、茨城県北茨城市の「中郷工業団地」に、2017年（平成29年）12月、敷地面積1,235坪、建物面積165.18坪の北茨城営業所を開設しました。

北茨城事業所のある茨城県北部は、斎藤英次商店が提供する古紙回収リサイクルがまだ行き届いていない地域であるため、まずは行政機能と連携し、地域にリサイクルについて知ってもらうことから始めています。従業員は営業部長兼北茨城営業所長の1名ですが、事業規模が拡大次第、地域住民を中心に採用をしていく方針です。

北茨城事業所では、広大な古紙のストックヤードを有し、最新の圧縮・梱包機を配置しています。開設して間もないこともあり、古紙のストックヤードには、まだまだゆとりがある状態ですが、リサイクルが地域に浸透していくものと思われま

物の価値と心の価値をつなぐ

地球温暖化防止や環境保全等、環境問題に何かしら取り組んでいる企業の数が増加しています。

経済産業省「紙・パルプ統計」によれば、古紙の回収率や利用率は年々増加しており、2016年（平成28年）現在、古紙回収率は81.2%、利用率64.2%となっています。この数値は、世界でもトップクラスであり、日本における古紙回収システムの整備状況が高水準であることを示しています。

この水準を維持・向上していくため、斎藤英次商店では「世の中から無価値なものをなくす」をモットーに、地域になくしてはならない、選ばれる存在を目指した取り組みを実施しています。

代表的な取り組みとして、地域住民が気軽にリサイクル活動に参加できるよう、24時間365日いつでも古紙を投入することができる古紙回収ボックスや、古紙だけでなく、空き缶や古着、小型家電等を無料回収できるリサイクルステーションを営業所に設置しています。

また、小学校の防災訓練やファミリー向けのイベントに使用する段ボールの提供、障がい福祉サービス事業所の利用者が加工した、100%再生紙のトイレトーパー（福祉支援ロール）の販売協力等、地域に対し資源を守る心の醸成を図っています。

斎藤英次商店の取り組みは、地道ながらも古紙の価値を“物”と“心”の両面から繋ぎ合わせ、循環型社会を形成するために重要な役割を果たしています。これらの取り組みを継続し社会貢献に寄与することで、斎藤英次商店は、更なる飛躍を遂げられることでしょう。

会社概要

所在地	(本 社) 千葉県柏市柏 6-1-1 流鉄柏ビル 3F (北茨城営業所) 茨城県北茨城市中郷町日棚 644-95
業 種	古紙リサイクル業
従 業 員 数	80 名
代表取締役	斎藤 大介
連絡先	(本 社) 04-7186-6701 (北茨城営業所) 0293-24-7555
U R L	http://www.saito-eiji.co.jp/